

攻めのIT経営調査2019アンケート調査項目一覧

I	経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用
1	経営方針および経営計画における企業価値向上のためのIT活用
1-1	経営方針および経営計画（中期経営計画・統合報告書等）の中に、企業価値向上のためのIT活用（データとデジタル技術の活用）、特にデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」とする）の推進についての方針・ビジョン等を掲げていますか。
1	DXの推進に関する方針・ビジョン等を掲げている
2	IT活用に関する方針・ビジョン等は含まれているが、DXの推進に関しては触れていない
3	含まれていない
1-2 記述	Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その内容が記載された経営方針または経営計画の資料名をご記入ください（公開されている場合はURLもご記入ください）。 例：株主通信5ページに記載、またアニュアルレポート20ページに記載
1-3	Q1-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その内容をIR資料等で公開していますか。
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	社外への公開を準備中である
3	公開する予定はない
2	経営トップのメッセージ
2-1	企業価値向上のための IT 活用、特にDXの推進について、経営トップが経営方針・経営計画やメディア等でメッセージを発信していますか。
1	経営トップがDXの推進についてのメッセージを社内および社外に発信している
2	経営トップがDXの推進についてのメッセージを社内に発信している
3	企業価値向上のためのIT活用について社内および社外に発信しているが、DXの推進については触れていない
4	発信していない
2-2 記述	Q2-1で1～3を選択された場合は回答してください。 そのメッセージが記載された資料名・メディア名称・URL等をご記入ください。 例：アニュアルレポート5ページ、統合報告書7ページ、●●新聞2018年5月20日号（10面）
3	企業価値向上のためのIT活用計画
3-1	企業価値向上のための IT 活用計画、特にDXを推進する計画がありますか。
1	企業価値向上のための IT 活用、特にDXを推進する計画があり、どの事業分野でどのような新たな価値を生み出すことを目指すかが示されている
2	企業価値向上のための具体的な IT 活用の計画があるが、DXの推進に関しては触れていない
3	企業価値向上のための IT 活用計画はこれからの課題である
3-2 記述	Q3-1で1または2を選択された場合は回答してください。 計画の名称をご記入ください。 例：●●DX2025プラン
3-3	Q3-1で1または2を選択された場合は回答してください。 その内容をIR資料等で公開していますか。
1	その内容をIR資料等ですでに社外に公開している
2	報告書等で社内でも周知されており、社外への公開も準備中である
3	社内では周知されているが、公開の予定はない

4	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進についての経営トップのコミットメント
4-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進について、経営トップ自らがその取組にコミットメントしていますか。
1	経営トップが企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進について、強くコミットメントしている
2	経営トップは、企業価値向上のためのIT活用について指示をしているが、DXの推進へのコミットメントまでは至っていない
3	経営トップの関与は少ない
4-2 記述	Q4-1で1または2を選択された場合は回答してください。 コミットメントしている具体的な取組（プロジェクト等）の名称をご記入ください。 例：●●2025プロジェクト
5	「企業価値向上のためのIT活用」ミッションの責任者の任命
5-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進をミッションとする責任者が任命され、リーダーシップを発揮していますか。
1	経営層（取締役会メンバー）が責任者として任命され、具体的な取組をリードしている
2	経営層（取締役会メンバー）が責任者として任命されているが、具体的な取組はこれからである
3	執行役員や部門長（事業部門/IT部門等）が責任者となっている
4	任命されていない
5-2 記述	Q5-1で1または2を選択された場合は回答してください。 該当される方の役職をご記入ください。また、その方がリードされている具体的な取組（プロジェクト等）の名称をご記入ください。 例：専務執行役員CDO（チーフデジタルオフィサー）/●●2025プロジェクト
6	DX責任者、CIO、データ責任者の位置づけ
6-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進をミッションとする責任者（Chief Digital Officerとしての役割など）、CIO（ITに関する統括責任者、Chief Information Officer）、データに関する責任者（Chief Data Officer）が明確になっていますか。他の役割と兼任でもかまいません。
1	いずれも明確であり、組織上位置付けられている
2	3つの役割のうち2つは明確になっている
3	3つの役割のうち1つは明確になっている
4	認識されていない、該当する人はいない
6-2 記述	Q6-1で1~3を選択された場合は回答してください。 それぞれ、該当する方の役職をご記入ください。 例：DX責任者：執行役員CDO（Chief Digital Officer）、CIO/データ：執行役員IT本部長
7	DX責任者とCIO、データ責任者の連動
	Q6-1で1または2を選択された場合はご回答ください。 企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進をミッションとする責任者（Chief Digital Officerとしての役割）と、CIO（ITに関する統括責任者、Chief Information Officer）およびデータに関する責任者（Chief Data Officer）が連動して取組ができていますか。
1	（同一の人物が担当している場合を含め）連動した取組ができています
2	定期的にコミュニケーションは取れているが、それぞれ独自に取組んでいる

II 企業価値向上のための戦略的IT活用											
8 企業価値向上のためのIT活用の予算											
8-1	<p>企業価値向上のためのIT活用、特にDX推進のための予算が一定の金額または一定の比率確保されていますか。またそれは他のIT予算と別で管理されており、IT予算の増減による影響を受けないようになっていますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>一定予算枠を常に確保しており、他の予算からの影響は受けない</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一定予算枠を常に確保しているが、IT予算と一緒に管理しており、他のIT予算からの影響を受ける</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一定予算枠はないが、年度予算ごとに確保している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>特段確保していない</td> </tr> </table>	1	一定予算枠を常に確保しており、他の予算からの影響は受けない	2	一定予算枠を常に確保しているが、IT予算と一緒に管理しており、他のIT予算からの影響を受ける	3	一定予算枠はないが、年度予算ごとに確保している	4	特段確保していない		
1	一定予算枠を常に確保しており、他の予算からの影響は受けない										
2	一定予算枠を常に確保しているが、IT予算と一緒に管理しており、他のIT予算からの影響を受ける										
3	一定予算枠はないが、年度予算ごとに確保している										
4	特段確保していない										
8-2 記述	<p>Q8-1で1または2を選択された場合は回答してください。 企業価値向上のためのIT予算について記載されている資料名をご記入ください。 例：FY2018全社IT投資計画書／FY2017IT白書</p>										
9 「革新的な生産性向上」を実現する取組											
9-1	<p>ITを活用した、革新的な生産性向上を目指した、働き方改革や組織運営の変革、プロセスの変革等に関する取組を実施していますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>本格的に実施しており効果が出ている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一部で実施している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>計画中（3年以内に実施予定）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>計画はない</td> </tr> </table>	1	本格的に実施しており効果が出ている	2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない	3	一部で実施している	4	計画中（3年以内に実施予定）	5	計画はない
1	本格的に実施しており効果が出ている										
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない										
3	一部で実施している										
4	計画中（3年以内に実施予定）										
5	計画はない										
9-2 記述	<p>Q9-1で1～3を選択された場合は回答してください。 取組（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：工場でのロボット活用による生産性向上プロジェクト</p>										
10 「既存ビジネスの拡充」のための取組											
10-1	<p>ITを活用した、既存ビジネスの拡充を目指した、顧客との関係強化やマーケティングの変革、プロセス変革による満足度向上等の取組を実施していますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>本格的に実施しており効果が出ている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一部で実施している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>計画中（3年以内に実施予定）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>計画はない</td> </tr> </table>	1	本格的に実施しており効果が出ている	2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない	3	一部で実施している	4	計画中（3年以内に実施予定）	5	計画はない
1	本格的に実施しており効果が出ている										
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない										
3	一部で実施している										
4	計画中（3年以内に実施予定）										
5	計画はない										
10-2 記述	<p>Q10-1で1～3を選択された場合は回答してください。 取組（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：AIを活用したコールセンターにおける個客別対応プロジェクト</p>										
11 「ビジネス革新」を実現する取組											
11-1	<p>ITを活用した、ビジネス変革（新規事業創造やビジネスモデルの変革）を実現する取組を実施していますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>本格的に実施しており効果が出ている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>一部で実施している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>計画中（3年以内に実施予定）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>計画はない</td> </tr> </table>	1	本格的に実施しており効果が出ている	2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない	3	一部で実施している	4	計画中（3年以内に実施予定）	5	計画はない
1	本格的に実施しており効果が出ている										
2	本格的に実施しはじめたが、効果はまだわからない										
3	一部で実施している										
4	計画中（3年以内に実施予定）										
5	計画はない										
11-2 記述	<p>Q11-1で1～3を選択された場合は回答してください。 取組（プロジェクト）のタイトルまたは概要について簡単にご記入ください。 例：製品のサービスモデル化プロジェクト</p>										

12	Q9～11で回答した取組について、IR資料等で公開していますか。	
12-1	1	Q9～11で回答した内容について、IR資料等ですでに社外に公開している
	2	一部の内容をIR資料等ですでに社外に公開している
	3	社外へは公開していないがIT関連の報告書等で社内で周知されており、社外への公開も準備中である
	4	公開の予定はない
12-2 記述	Q12-1で1または2を選択された場合は回答してください。 公開されている資料名・URLをご記入ください。 例：アニュアルレポート15ページ	
13	資本生産性（ROE/ROIC）やキャッシュフローの変化	
13-1	企業価値向上のためのIT投資を実施した前後の、企業全体としてのROEやキャッシュフローはどのように変化していますか。 ※ご記入いただいた企業価値向上のための取組との関係を質問しているものではありません。	
	1	資本生産性（ROE/ROIC）およびキャッシュフローともに改善している
	2	資本生産性（ROE/ROIC）のみ改善している
	3	キャッシュフローのみ改善している
	4	資本生産性（ROE/ROIC）およびキャッシュフローいずれも改善していない
13-2 記述	Q13-1の裏付けとなるIR資料名をご記入ください。 例：アニュアルレポート、株主通信、決算説明会資料（FY2018）に記載	
14	最新のデジタル技術の活用	
14-1	最新のデジタル技術について、活用に着手していますか。	
	1	すでにビジネスの中に組み込まれ、活用されている
	2	すでに活用されているが、範囲は限定的
	3	POC等トライアルに取組中
	4	計画中（1年以内の実施を予定）
	5	検討中（基礎研究等を実施中）
	6	未着手
14-2 記述	Q14-1で1または2を選択された場合は回答してください。 活用されている技術と対象をご記入ください。 例：工場におけるAIを活用した自動仕分け	
15	データとデジタル技術を活用した取組を促進する制度・仕組み	
15-1	データとデジタル技術を活用した新たな取組等について、新しい挑戦を促すとともに、継続的に挑戦し、積極的に挑戦していることとするマインドセット醸成を目指した、活動を支援する制度、仕組みがありますか。	
	1	トライアル（POC）・リーンスタートアップ等を促進する制度・仕組みがあり、ビジネス展開につなげるための仕組みも構築している
	2	トライアル（POC）のための制度・仕組みがあり積極的に取り組んでいる
	3	必用に応じ稟議を経て承認する
15-2 記述	Q15-1で1または2を選択された場合は回答してください。 制度の名称、仕組みの概要等をご記入ください。 例：「●●新ビジネスアイデアラボ2018」 事業部とデジタル担当の若手が新たなアイデアを検討、優れたアイデアについては事業部へのプレゼンを通して実行につなげる。	
16	エコシステム・企業間連携	
16-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進のため、エコシステム等、企業間連携を実施していますか。	
	1	実施している
	2	実施を具体的に計画している
	3	予定・計画がない
16-2 記述	Q16-1で1または2を選択された場合は回答してください。 実施内容の概要をご記入ください。 例：インターネットプラットフォーム企業とのエコシステムを構築し、自社のデータを活用した新サービスを展開	

Ⅲ 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	
17 企業価値向上のためのIT活用についての経営会議での議論	
17-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進に関して、経営会議で報告・議論されていますか。
1	経営会議で頻繁に報告・議論される
2	経営会議で報告され議題となることはあるが、年に数回程度である
3	経営会議の議題となることはほとんどない
17-2 記述	Q17-1で1を選択された場合は回答してください。 議題となる頻度、議題の例をご記入ください。 例：2か月に1回程度、議題の例：AIの全社展開について
18 企業価値向上のためのIT活用の推進体制	
18-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進を検討する、事業関係者・デジタル技術担当者が一体となった推進組織（部署・チーム・専任者・専門会社などの組織体）やプロジェクトチームがありますか。
1	事業関係者・デジタル技術担当者が一体となった推進組織がある
2	デジタル技術の担当者は含まれていないが、事業部門でプロジェクトチームを作るなどして企画・推進しており、適宜全社的な連携やIT部門・デジタル技術担当者との連携をとっている
3	事業部門が必要に応じて独自に企画・推進しており、全社的な連携やIT部門・デジタル技術担当者との連携は取れていない
4	事業部門の要望によりIT部門・デジタル技術担当者が都度対応している
5	明示的には存在しない
18-2 記述	18-1で1を選択された場合は回答してください。 その組織名をご記入ください。 例：デジタルイノベーション推進部
19 企業価値向上のためのIT活用の推進組織のメンバー	
19-1	18-1で1を選択された場合は回答してください。 18-1でお答えいただいた組織のメンバーは専任ですか、兼任ですか。
1	全てのメンバーが専任
2	専任と兼任が混在する
3	全てのメンバーが兼任
20 最新のデジタル技術の評価や適用の検討体制	
20-1	最新のデジタル技術の動向を把握するとともにその評価をし、適用の可能性を検討する専門組織（部署、チーム、担当者等）を設け、常時活動を行っていますか。
1	最新のデジタル技術の評価や適用の検討を専門組織を設置し常時行っている
2	常時ではないが技術によっては調査・評価を行っている
3	必要となった際に都度調査・評価している
4	情報収集はしているが、評価まではしていない
20-2 記述	20-1で1を選択された場合は回答してください。 組織の名称をご記入ください。 例：IT企画部・技術グループおよびマーケティング部デジタルマーケティンググループ
21 企業価値向上のためのIT活用を支える人材	
21-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進を支える人材として、どのような人材が必要かが明確になっており、確保のための取組を実施していますか（計画的な育成、中途採用、外部からの出向、事業部門・IT担当部門間の人事異動等）
1	明確になっており、確保できている
2	明確になっており、確保のために取り組んでいる
3	明確になっていない
21-2 記述	21-1で1または2を選択された場合は回答してください。 必要な人材の概要・確保のための取組概要をご記入ください。 例：最新のデジタル技術とビジネスニーズをつないで活用を推進できる人材。中途採用および事業部門からの人事異動を実施。

22	企業価値向上のための IT 活用に取り組む人材を評価する仕組み						
22-1	企業価値向上のための IT 活用（DX含む）に取り組む人材を評価する仕組みがありますか <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>企業価値向上のための IT 活用を推進する人材を評価する、全社的な仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特定の部門において、評価する仕組みがある（例：IT部門独自の仕組み等）</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>そのための仕組みはない</td> </tr> </table>	1	企業価値向上のための IT 活用を推進する人材を評価する、全社的な仕組みがある	2	特定の部門において、評価する仕組みがある（例：IT部門独自の仕組み等）	3	そのための仕組みはない
1	企業価値向上のための IT 活用を推進する人材を評価する、全社的な仕組みがある						
2	特定の部門において、評価する仕組みがある（例：IT部門独自の仕組み等）						
3	そのための仕組みはない						
22-2 記述	22-1で1または2を選択された場合は回答してください。 仕組みの名称や概要をご記入ください。 名称例：IT提案アワード 概要例：提案回数の評価、実現につながった場合のインセンティブ						
23	企業価値向上のためのIT活用についての普及啓発・育成の取組						
23-1	全社員が、企業価値向上のための IT 活用（DXを含む）を自ら考え、能動的に活動できるよう、勉強会など普及啓発・育成の取組を実施していますか。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>全社員を対象に実施している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>一部の社員を対象に実施している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>実施していない</td> </tr> </table>	1	全社員を対象に実施している	2	一部の社員を対象に実施している	3	実施していない
1	全社員を対象に実施している						
2	一部の社員を対象に実施している						
3	実施していない						
23-2 記述	23-1で1または2を選択された場合は回答してください。 取組の概要をご記入ください。 例：選抜された職員を定期的に海外視察させている。						
24	企業価値向上のためのIT活用、特にDXを推進する組織における情報収集の機会・場や仕組み						
24-1	企業価値向上のためのIT活用を担当する組織、特にDX推進組織が、顧客ニーズや現場課題を把握するための情報収集の機会・場や仕組みがありますか。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>定期的な情報交換・交流の機会・場や情報収集のための仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>定期的な機会・場や仕組みはないが、必要に応じて顧客ニーズ・現場課題について情報交換・交流できている</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>情報交換・交流する機会・場はほとんどなく、仕組みもない</td> </tr> </table>	1	定期的な情報交換・交流の機会・場や情報収集のための仕組みがある	2	定期的な機会・場や仕組みはないが、必要に応じて顧客ニーズ・現場課題について情報交換・交流できている	3	情報交換・交流する機会・場はほとんどなく、仕組みもない
1	定期的な情報交換・交流の機会・場や情報収集のための仕組みがある						
2	定期的な機会・場や仕組みはないが、必要に応じて顧客ニーズ・現場課題について情報交換・交流できている						
3	情報交換・交流する機会・場はほとんどなく、仕組みもない						
24-2 記述	24-1で1を選択された場合は回答してください。 交流の機会・場の名称、仕組みの名称やテーマ内容、頻度をご記入ください。 例：●●デジタルラボ/1か月に1回/事業部とデジタル技術担当の若手が集まり、ユーザーインタビューを実施しながら新たなアイデアを検討している。またSNSを活用し、エンドユーザーのニーズを収集、全社に共有している。						
25	外部リソースの活用・外部組織との協調						
25-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進にあたって、オープンイノベーション、社外アドバイザー・パートナーの活用、スタートアップ企業との協業など、これまでのIT分野での受発注関係と異なる外部リソースの活用を実施していますか。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>これまでと異なる外部リソースの活用を実施している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>実施を具体的に計画している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>予定・計画はない</td> </tr> </table>	1	これまでと異なる外部リソースの活用を実施している	2	実施を具体的に計画している	3	予定・計画はない
1	これまでと異なる外部リソースの活用を実施している						
2	実施を具体的に計画している						
3	予定・計画はない						
25-2 記述	25-1で1を選択された場合は回答してください。 実施・検討内容の概要をご記入ください。 例：プライベートハッカソンの開催						
26	共創の場						
26-1	企業価値向上のためのIT活用、特にDXの推進にあたって、部門および組織横断（外部の組織も含む）の共創を促進する場がありますか。 <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>共創の場がある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>実施を具体的に計画している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>予定・計画がない</td> </tr> </table>	1	共創の場がある	2	実施を具体的に計画している	3	予定・計画がない
1	共創の場がある						
2	実施を具体的に計画している						
3	予定・計画がない						
26-2 記述	26-1で1を選択された場合は回答してください。 名称または概要をご記入ください。 例：●●イノベーションセンターの創設						

IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組	
27	経営トップの情報セキュリティリスクについての認識
27-1	経営者が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともに、情報セキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保していますか。
1	経営者が情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築するとともに情報セキュリティ対策のためのリソース（予算、人材）を確保している
2	情報セキュリティリスクを経営リスクの1つとして認識し、CISO等の責任者を任命するなど管理体制を構築しているが、対策のためのリソース確保はこれからの課題である
3	管理体制の構築および対策のための資源確保はこれからの課題である
27-2 記述	27-1で1または2を選択された場合は回答してください。 責任者の役職をご記入ください。 例 責任者：経営企画担当常務／セキュリティ対策組織名称：リスクマネジメント委員会
28	情報セキュリティリスクの把握と対策
28-1	情報セキュリティリスクとして守るべき情報を特定し、リスクに対応するための計画（システム的・人的）を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築していますか。
1	情報セキュリティリスクを特定し、リスク対策計画を策定するとともに、防御のための仕組み・体制を構築している
2	情報セキュリティリスクは特定しているが、仕組み・防御のための体制構築はこれからの課題である
3	情報セキュリティリスクの明確化はこれからの課題である
28-2 記述	28-1で1または2を選択された場合は回答してください。 リスク対策やその対応に関する規定やドキュメントをご記入ください。 例：リスク分析表
29	情報セキュリティポリシーの策定と体制の構築、PDCAサイクルの構築
29-1	情報セキュリティポリシーを定めるとともに、日常の管理および事故時の即応のための体制（CSIRT等）を構築し、PDCAサイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。
1	情報セキュリティポリシー等を定め、日常の管理・事故時の即応体制（CSIRT等）を構築し、対策を講じている。またPDCAサイクルを定義して、モニタリングや定期的な見直しを実施するなど、改善に向けて取り組んでいる
2	情報セキュリティポリシー等を定め、日常の管理・事故時の即応体制（CSIRT等）を構築し、対策を講じているが、PDCAサイクルを定義した、改善への取組はこれからの課題である
3	情報セキュリティポリシー等を定めていない
29-2 記述	29-1で1または2を選択された場合は回答してください。 即応体制の組織名をご記入ください。また、見直し結果の報告資料名をご記入ください。 例：●SIRT、リスクマネジメントレポート2017
30	情報セキュリティへの取組に関する開示
30-1	情報セキュリティを経営リスクの一つと捉え、その取組を前提としたリスクの性質・度合いに応じて、情報セキュリティ報告書、CSR報告書、サステナビリティレポートや有価証券報告書等への記載を通じて開示を行っていますか。
1	セキュリティポリシー、関連投資、体制、日常的なPDCA活動などに関して、紹介・開示を行っている
2	セキュリティポリシーなど一部の関連情報のみ、紹介や開示をしている
3	開示項目の選定含めて、開示のための作業を行っている
4	開示を検討中である
5	開示の計画はない
30-2 記述	30-1で1または2を選択された場合は回答してください。 掲載されている資料名をご記入ください。 例：リスクマネジメントレポート2017

31	企業価値向上のためのIT活用に向けた情報システムの分析・評価										
31-1	<p>全社の情報システムが経営・事業戦略推進の足かせとならないように、定期的にビジネス環境や利用状況をふまえ、情報資産の現状を分析・評価し、課題を把握できていますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>定期的（年1～数回）に、また継続的に、自社グループにおける情報資産全体の課題について、分析・評価を実施している</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>定期的（年1～数回）に、一部の重要な情報資産については分析・評価を実施している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>問題が発生したタイミングで調査・分析、対応している</td> </tr> </table>	1	定期的（年1～数回）に、また継続的に、自社グループにおける情報資産全体の課題について、分析・評価を実施している	2	定期的（年1～数回）に、一部の重要な情報資産については分析・評価を実施している	3	問題が発生したタイミングで調査・分析、対応している				
1	定期的（年1～数回）に、また継続的に、自社グループにおける情報資産全体の課題について、分析・評価を実施している										
2	定期的（年1～数回）に、一部の重要な情報資産については分析・評価を実施している										
3	問題が発生したタイミングで調査・分析、対応している										
31-2 記述	<p>31-1で1または2を選択された場合は回答してください。 確認・見直しの報告に関する文書の名称・概要をご記入ください。 例：●●社IT報告書</p>										
32	情報システムの改善・見直し										
32-1	<p>Q31-1で実施した分析・評価の結果を受け、必要な対策を実施できていますか。またそれを実施するための体制（組織や役割分担）を整えていますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している</td> </tr> </table>	1	すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています	2	定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している	3	評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である	4	アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している		
1	すでに全社的・抜本的な対策（システム刷新等）を実施済みであり、定期的な評価結果に基づき、継続的に柔軟かつ迅速な対応ができています										
2	定期的な評価結果に基づいたアクションプランが立案されており、それを実施するための体制を整備し、計画に沿って実行している										
3	評価結果に基づいたアクションプランは立案しているものの、それを実施するための体制までは整備しておらず、今後実施する予定である										
4	アクションプランは立案しておらず、問題があった場合に都度必要な対策を実施している										
32-2 記述	<p>32-1で1または2を選択された場合は回答してください。 実施した対応策をご記入ください。 例：全社的にシステムを見直し、刷新あるいは破棄すべきものはサunkコストとしてこれ以上コストをかけないよう破棄している。また協調領域を見極めることで標準パッケージや共通プラットフォームを活用するなど戦略的に対応している</p>										
33	情報システムの全社最適化の取組										
33-1	<p>情報システムの全社最適を目指し、全社のデータ整合性を確保するとともに、事業部単位での個別最適による複雑化・ブラックボックス化を回避するための仕組みがありますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>全社的な情報システムの最適化は確保できていない</td> </tr> </table>	1	全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある	2	全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある	3	全社的な情報システムの最適化は確保できていない				
1	全社情報システムの最適化を目指し、全社のマスターデータを統合するなど、データの整合性を確保できている。また個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある										
2	全社データの整合性確保はこれからの取組だが、全社情報システムの最適化を目指した、個別最適を回避するためのシステム構築時の計画確認などの仕組みがある										
3	全社的な情報システムの最適化は確保できていない										
33-2 記述	<p>33-1で1を選択された場合は回答してください。 関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 例：グループマスターデータ規定、●●社開発標準の順守義務付け</p>										
34	最新デジタル技術と既存の情報システムとの連携										
34-1	<p>ビジネス環境の変化に迅速に対応できるよう、既存のITおよびデータが、新たに導入する最新デジタル技術とスムーズかつ短期間に連携できるとともに、既存データを活用できるようになっていますか。</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>改造を実施したいが難しい状態である</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない</td> </tr> </table>	1	スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている	2	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している	3	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している	4	改造を実施したいが難しい状態である	5	既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない
1	スムーズかつ短期間に連携できるようなアーキテクチャーとなっている										
2	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造に着手している										
3	既存のITおよびデータをデジタル技術と連携させるための改造を計画（3年以内）している										
4	改造を実施したいが難しい状態である										
5	既存のITおよびデータから独立しているので、連携は必要ない										
34-2 記述	<p>34-1で1を選択された場合は回答してください。 関連するデータ定義書等の名称をご記入ください。 例：グループデータディクショナリー</p>										

35	経営状況のリアルタイムでの見える化	
35-1	全社的に売上等の経営状況をリアルタイムに把握できていますか。	
	1	経営層が売上等をリアルタイムに把握できる仕組みがある
	2	リアルタイムではないが、経営層が日次の状況を把握できる仕組みがある
	3	定期的に状況を把握しているが、日々の状況を把握できる仕組みはない
35-2 記述	35-1で1を選択された場合は回答してください。 導入している仕組みやシステムの名称をご記入ください。 例：経営ダッシュボード	
36	ヒューマンリソースの見える化	
36-1	社員の経歴や能力を見える化する各国個人情報保護法に準拠した仕組みがあり、企業価値向上に向けた取組など、新たなプロジェクト等の人選や人材配置に役立っていますか。	
	1	全社的（グローバルを含むグループ全体）として社員の経歴・能力を見える化する仕組みがあり、新たなプロジェクト等の人選・人材配置に役立っている
	2	特定部門でのみ社員の経歴・能力を見える化する仕組みがあり、新たなプロジェクト等の人選・人材配置に役立っている
	3	そのような仕組みはない
36-2 記述	36-1で1を選択された場合は回答してください。 導入している仕組みやシステムの名称・実施内容をご記入ください。 例：ヒューマンリソースマネジメントシステム 新たなAIチームの人選に活用	
37	モノの動きの見える化	
37-1	製品の製造・流通プロセス、サービスに関する状況の見える化ができていますか。	
	1	全社的に見える化ができています
	2	一部の見える化ができています
	3	そのような仕組みはない
37-2 記述	37-1で1を選択された場合は回答してください。 導入している仕組みやシステムの名称・実施内容をご記入ください。 例：●●製品トレーサビリティシステム/スタッフの接客時間の見える化/店舗に来場した顧客動線の見える化	

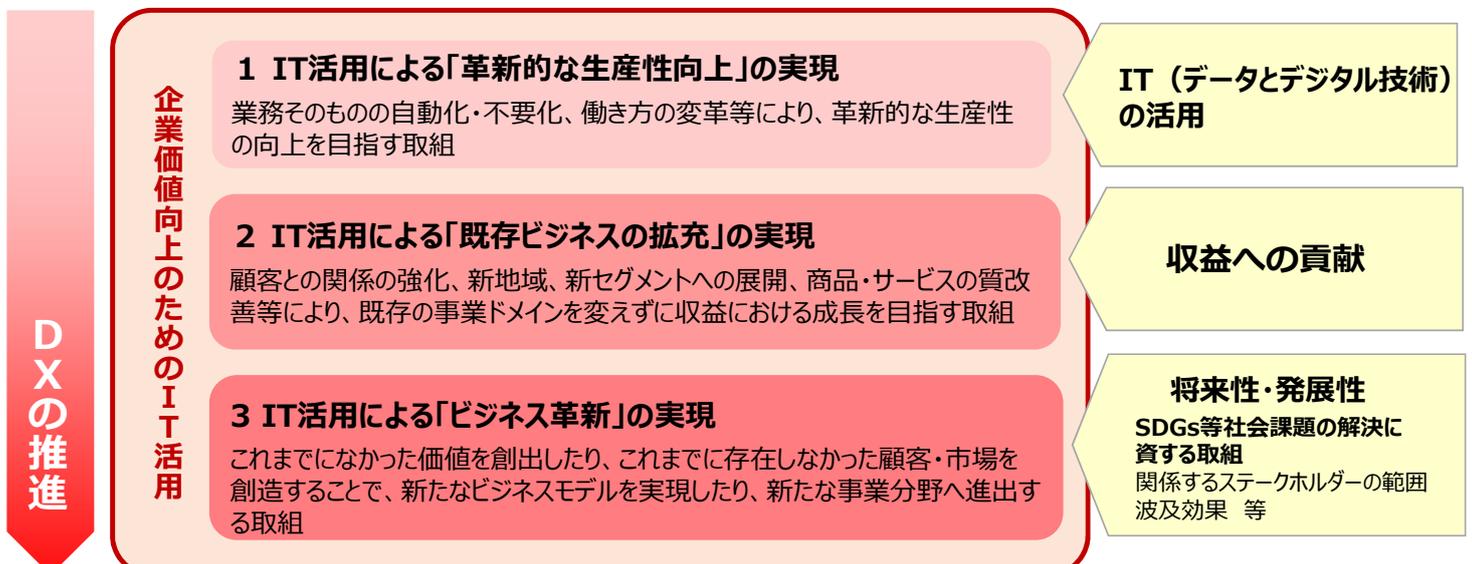
V 企業価値向上のためのIT活用の評価	
38 実験的な投資に関する評価基準	
38-1	最新のデジタル技術の活用などの実験的な投資について、定量的なリターンやその確度を求めすぎて挑戦を阻害しないような意思決定プロセスや判断基準がありますか。
1	実験的な投資のための意思決定プロセスや判断基準がある
2	特別なプロセスや基準はない
38-2 記述	38-1で1を選択された場合は回答してください。 そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例：「最新デジタル投資枠」を設け、定量的なリターン以外の観点（将来的なビジネスの価値など）も評価している
39 企業価値向上のためのIT活用の評価	
39-1	企業価値向上のための取り組みについて、経営的観点・事業の状況・ITの活用状況を基に評価をするルールがありますか。
1	ルールがあり、ルールを基に評価・意思決定している
2	ルールはないが、定期的に関係者が議論し、評価・意思決定している
3	必要に応じ関係者が議論し意思決定している
39-2 記述	39-1で1を選択された場合は回答してください。 ルールの名称や概要をご記入ください。 例：「ビジネス価値評価」一定期間の後、KPIやビジネス目標の達成度で評価する仕組みを設けている。
40 ITに関する報告書の作成	
40-1	経営者や事業関係者との情報共有・コミュニケーション向上のため、ITに関する報告書（IT版アニュアルレポート・IT白書など）を作成していますか。またはアニュアルレポートや統合報告書等でITに関する項目や記述箇所を設けていますか。
1	ITに関する報告書を作成し、定期的な情報共有を行い、経営者や事業関係者とコミュニケーションを図るとともに、一部については外部にも情報公開したり、アニュアルレポートや統合報告書でITに関する項目や記述箇所を設けている
2	ITに関する報告書を作成し、定期的な情報共有を行い、経営者や事業関係者とコミュニケーションを図っている
3	経営者や事業関係者へ適宜情報共有は実施しているが、報告書のような形ではまとめていない
4	特段取り組んでいない
40-2 記述	40-1で1を選択された場合は回答してください。 最新の報告書の名称と作成年月を記入してください。公開している場合はURLをご記入ください。 ●●ITアニュアルレポート（2018年3月作成）、統合報告書●ページ

攻めのIT経営調査2018

記述回答フォーマット

Q41 攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用）の取組

- 企業価値向上目指のための取組について、4～7ページのフォーマットにご記入ください。
※これまで実施した取組、現在進行中の取組、あるいは今後実施する計画がある取組のいずれでも結構です。
※貴社にとってより重要性が高い取組2つについてご記入ください。※必要に応じてスライドまたは別添資料を補足してください。
- また、間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する取組について、10ページのフォーマットにご記入ください。



攻めのIT経営銘柄2019における「DXグランプリ（仮称）」の募集

- 「攻めのIT経営銘柄2019」では企業の競争力強化に資するデジタルトランスフォーメーション(DX)に向けた取組を後押しするため、DX推進ベストプラクティス企業として「DXグランプリ（仮称）」の選定・公表を予定しております。
- Q41でご記入いただいた取組は、「DXグランプリ（仮称）」の選定における基礎資料としても使用予定です。また、**DXの推進に積極的に取り組む企業として紹介**させていただく可能性がございます。
※紹介させていただく場合は、必ず事前に確認の連絡をいたします。

【本アンケートにおける用語の説明】

デジタルトランスフォーメーション（DX）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

（経済産業省「DX推進ガイドライン」より）

2

【参考】SDGsの17のゴール

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための**17のゴール**・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

（詳細）<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>



企業価値向上のための取組において、SDGsの17のゴール達成に資する内容が含まれる場合は、左記の該当する番号をフォーマットの1ページ目右上の回答欄に記載してください。

3

企業価値向上のための取組①（1/2）

企業名		ID	
-----	--	----	--

取組タイトル		状況	<input type="checkbox"/> 計画中 <input type="checkbox"/> 実行中
企業価値向上 （攻めのIT経営）テーマ	<input type="checkbox"/> 革新的な生産性向上 <input type="checkbox"/> 既存ビジネスの拡充 <input type="checkbox"/> ビジネス革新	該当するSDGs番号 ※該当するものがある場合は2 ページを参照して番号を記入	
関連するDXの要素 （変革の対象）※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input type="checkbox"/> 組織の変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革 <input type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
取組概要			

背景と目的

背景となる 経営・事業環境	
目的 事業の目標	

プロジェクト体制・責任（リーダー）

● 責任者・組織体制等

4

企業価値向上のための取組①（2/2）

企業名		ID	
-----	--	----	--

取組タイトル	
--------	--

企業価値向上の取組詳細 ※必要に応じて、画像／スライド／別添資料等を補足してください。

- 実現した（したい）内容、対象、採用しているデジタル技術等

KPI/KGI/考えられる効果

--

5

企業価値向上のための取組②（1/2）

企業名		ID	
-----	--	----	--

取組タイトル		状況	<input type="checkbox"/> 計画中 <input type="checkbox"/> 実行中
企業価値向上 (攻めのIT経営) テーマ	<input type="checkbox"/> 革新的な生産性向上 <input type="checkbox"/> 既存ビジネスの拡充 <input type="checkbox"/> ビジネス革新	該当するSDGs番号 ※該当するものがある場合は2 ページを参照して番号を記入	
関連するDXの要素 (変革の対象) ※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input type="checkbox"/> 組織の変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革 <input type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革 <input type="checkbox"/> その他 ()		
取組概要			

背景と目的

背景となる 経営・事業環境	
目的 事業の目標	

プロジェクト体制・責任（リーダー）

● 責任者・組織体制等

6

企業価値向上のための取組②（2/2）

企業名		ID	
-----	--	----	--

取組タイトル	
--------	--

企業価値向上の取組詳細 ※必要に応じて、画像／スライド／別添資料等を補足してください。

- 実現した（したい）内容、対象、採用しているデジタル技術等

KPI/KGI/考えられる効果

--

7

【記載方法】企業価値向上のための取組（1/2）

企業名	企業名（上場名）	ID	回答ID
-----	----------	----	------

取組タイトル	取組タイトルを記入	状況	現時点の状況 該当するものを□→■に □計画中 ■実行中
企業価値向上 （攻めのIT経営）テーマ	該当するものを□→■に □革新的な生産性向上 □既存ビジネスの拡充 ■ビジネス革新	該当するSDGs番号	※該当するものがある場合は2ページを参照して番号を記入 該当するものがあれば番号を記入
関連するDXの要素 （変革の対象）※複数可	□製品・サービスの変革 ■ビジネスモデルの変革 □業務プロセスの変革 □組織の変革 □人事・制度の変革 □企業文化・風土の変革 □その他（ ）		該当するものを□→■に
取組概要	取組概要（200字程度）を記入		

背景と目的

背景となる 経営・事業環境	背景となる環境変化や問題意識等を簡単に記入
目的 事業の目標	事業全体としての目標を記入

プロジェクト体制・責任（リーダー）

- 責任者・組織体制等

責任者の立場や体制図を記入

8

【記載方法】企業価値向上のための取組（2/2）

企業名	企業名（上場名）	ID	回答ID
-----	----------	----	------

取組タイトル	取組タイトル（1ページ目と同じもの）
--------	--------------------

企業価値向上の取組詳細 ※必要に応じて、画像／スライド／別添資料等を補足してください。

- 実現した（したい）内容、対象、採用しているデジタル技術等

攻めのIT経営（企業価値向上のためのIT活用）に関する具体的な取組内容を具体的にご記入ください。
画像等を加えていただいたり、スライド・付属資料を追加いただいたりしても結構です。

KPI/KGI/考えられる効果

定量的・定性的に目標としている内容、想定している効果
将来的な成長への寄与
※可能な範囲でご記入ください。

9

【任意】攻めのIT経営を推進する取組

企業名		ID	
-----	--	----	--

間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する取組について、ご記入ください。
いくつでも結構です。複数ご紹介いただける場合はシートをコピーしてご利用ください。

タイトル	状況				計画中	実行中
関連するDXの要素 (変革の対象) ※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革	<input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 組織の変革 ()		

- 環境整備（組織、人材、評価の仕組み等）、DX推進の基盤となる情報システムの構築に向けた取組など、記載の一例を参考に自由に記入してください。必要に応じて補足資料を添付してください。

10

（記載の一例）【任意】攻めのIT経営を推進する取組

企業名	企業名（上場名）	ID	回答ID
-----	----------	----	------

間接的に攻めのIT経営、特にDXを推進する取組について、ご記入ください。
いくつでも結構です。複数ご紹介いただける場合はシートをコピーしてご利用ください。

タイトル	状況				計画中	実行中
関連するDXの要素 (変革の対象) ※複数可	<input type="checkbox"/> 製品・サービスの変革 <input type="checkbox"/> 人事・制度の変革	<input type="checkbox"/> ビジネスモデルの変革 <input type="checkbox"/> 企業文化・風土の変革	<input type="checkbox"/> 業務プロセスの変革 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 組織の変革 ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 環境整備（組織、人材、評価の仕組み等）、DX推進の基盤となる情報システムの構築に向けた取組など、自由に記入してください。必要に応じて補足資料を添付してください。

（記載の一例）

● 環境整備（組織、人材、評価の仕組み）

（観点の例）

- ✓ 各事業部門において新たな挑戦を積極的に行っていくマインドセットが醸成されるような仕組みの構築
- ✓ 各事業部門におけるデータやデジタル技術の活用の取組を推進・サポートに必要な体制の構築
- ✓ DXの実行のために必要な人材の育成・確保（社外からの人材獲得や社外との連携含む）に向けた取組 など

● DX推進の基盤となる情報システム構築に向けた取組

（観点の例）

- ✓ ITシステムが事業部門ごとに個別最適となることを回避し、全社最適となるよう、複雑化・ブラックボックス化しないための必要なガバナンスを確立しているか
- ✓ IT資産の仕分けやどのようなITシステムに移行するかのプランニングをどのように行なっているか
- ✓ 協調領域を見極め、企業の枠を超えた共通プラットフォームを利用する等の戦略的なリソース配分を図っているか
- ✓ 業務の簡素化や標準化を行なうことで、標準パッケージのカスタマイズを必要最低限のものとし、システムのレガシー化を回避するとともに、スピーディな変化に対応できるようにしているか など

※上記に限らず、貴社の取組を自由にご記入ください。

11